



郷土の森林を育てよう 岩手県植樹祭開催

「森林と 一緒に広がる ぼくらの希望」をスローガンに平成14年度岩手県植樹祭が6月4日、東山町唐梅館総合公園で開催された。この植樹祭は豊かな郷土づくりに向け、先人が残してくれた森林に感謝するとともに、21世紀を担う子どもたちに野鳥とのふれあいの場の提供、豊富な森林資源を引き継ぐことが目的。当日は晴天のなか、東磐井郡内の小中学生や一般参加者など約1,400人が参加し、ヤマモミジ、ヤマボウシなど15種類、1,800本を植え、緑豊かな県土づくりを誓った。



「夢県土いわて」実現の道づくりとは 「岩手の道づくりを考える」シンポジウム

これからの岩手の道づくりを考えるシンポジウムが6月8日滝沢村の岩手県立大学で開催された。このシンポジウムは「夢県土いわて」の実現に向けた道路整備について考えるもので、会場には約700人が参加。まず、国土交通省の大石久和道路局長による「道と文化」と題した基調講演が行われた。その後、増田知事と大石氏、残間里江子氏の鼎談が行われ、岩手の将来像とそれを支える道づくりのあり方や、21世紀の岩手の道のあるべき姿について活発な議論が交された。



高齢者が活躍できる社会を目指して いわてシルバーカレッジ開講式

いわてシルバーカレッジの開講式が6月19日に滝沢村の国立岩手山青年の家で開催された。いわてシルバーカレッジは地域社会で積極的に活躍する高齢者を養成するための生涯学習講座で、昨年度まで実施していた県保健福祉部主催の岩手高齢者大学と県教育委員会主催の岩手長寿学園を統合し、学習内容の充実を図ったもの。開講式には320人の受講生が出席し、生涯学習への意欲を新たに。今年度の講座は各県立青少年の家（県南・陸中海岸・県北）と国立岩手山青年の家で年7回実施される。



釜石市松原町

県内に大雨をもたらした台風6号 増田知事が被害状況を現地調査

7月13日、増田知事は県内全域に被害を及ぼした台風6号の被害状況を把握するため、現地調査を行った。まず、一関市中里の一関遊水地内にて冠水した農作物の被害状況を調査。東山町では道路や河川の被害状況を調べたほか冠水した東山町商店街、松川地区公民館、東山町役場を訪れた。続いて大東町では国道456号伊勢堂付近の被害状況を調査。午後からは釜石市を訪れ、鉄砲水で家屋が倒壊して死者2人が出た松原町、土砂崩れのあった駒木町などを調査し、被害状況を確認した。